



# 機関紙「れんごう中越地協」が1000号

## 91年の創刊から休刊なく連合と組合員をつなぐ

機関紙「れんごう中越地協」は発刊より数え5月1日号で1000号となりました。この間、幹事会の皆さんや地協に結集する各構成組織・単組の皆様、大変お世話になりました。

1991年1月のスタート時は月1回の発行でしたが、同年8月15日号から月2回となり、翌年3月には定期発行物・第三種郵便物認可を取得し、公募により現在の名称となりました。そして同時に月3回発行の今の形態となったものです。

以来、第1000号まで一度の休刊もなく定期発行が継続され、まさに継続は力であり、潤滑油・血液の役割を果たしてまいりました。

応援して頂いていた全ての方々とともに、この快挙・偉業を素直に喜び合いたいと存じます。本来であれば、幹事会挙げて記念パーティーでも行えば喜ぶもひとしおですが、今後の楽しみとして、改めての会の設置を検討してまいりたいと考えます。

成され今年で30年、二年遅れで中越地協が結成された、念願だった官民の大同団結により、連合は名実ともにナショナルセンターとして存在価値を高めること、そして、誰のための労働運動か、何のための労働運動かをスローガンに込め「労働を中心とした福祉型社会」の実現へベクトルを合わせたわけです。

しかしながら、連合が目指す「働くことを軸とする安心社会」とは程遠い、貧困や格差が蔓延し、お金持ちはより裕福に、そうでない人は平均以下の暮らしを強いられる、セーフティーネットの無い時代にもがき苦しんでいるのが実態です。これは元を正せば政治の結果です。

もつと早くにコンクリートから人への政策転換を図るべきだったのです。少子高齢化はより深刻さを増し、内需だけでは完全に経済成長が止まってしまいます。子供対策に予算を増やしても、男女が平等に働く時代では、授業料や保育費を無料にしても効果は薄いのです。



第1000号2019.5.1  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円  
購読料は会費を含む



必要です。その中で企業が成長できないといけません。

長岡市

当	小坂井和夫	2,949	無現⑨
当	五十嵐良一	2,348	無現②
当	松野憲一郎	2,332	無新①

小千谷市

当	長谷川有理	無投票	無現③
当	駒井 和彦	無投票	無現②

### 統一地方選挙 後半戦結果

統一地方選挙後半戦の結果、連合新潟が推薦した16名が当選を果した。

最後に、機関紙「れんごう中越地協」は今後も創意・工夫・精進を積んで、読まれる機会紙、役立つ機関紙づくりに努めます。1000号単位の節目に、継続してきた歴史的意義を思いながら、更に記念すべき次の節目へ向け躍進を遂げたいと思います。

久しぶりにローリングストーンズについて書きま

この会議は、青年組合員の情報交換と交流の場と位置づけ、各地協青年女性委員会の活動報告や計画を共有しました。また、「ワークルールを学ぼう」(模擬ワークルール検定)もあり有意義であった。

### 年度の活動等を共有

連合新潟青年代表者会議は、4月13日(土)14時から地協青年代表者会議を開いた。

東蔵王2 副議長 羽賀 実

海外6万円、日本10万円もあり、ミカウバーというキーボードの定番テレキャスター・ギター素材が使われている。数量限定で売り出されたが、一週間でソールドアウトとなった。勿論、そんなのには手が出せず、レギュラー盤を購入した▼アナログレコードが4枚にCDが2枚といういかにもアナログ好きのキースらしい内容になっている。確かに、飛んで帰って聞いた覚えがある。世の中がレコードからCDに変わっている時で、もう30年も過ぎたのかと今回のアルバムで感じた。自身、翌年の89年から労働組合の執行委員を始めた。



この会議は、青年組合員の情報交換と交流の場と位置づけ、各地協青年女性委員会の活動報告や計画を共有しました。また、「ワークルールを学ぼう」(模擬ワークルール検定)もあり有意義であった。

この会議は、青年組合員の情報交換と交流の場と位置づけ、各地協青年女性委員会の活動報告や計画を共有しました。また、「ワークルールを学ぼう」(模擬ワークルール検定)もあり有意義であった。

この会議は、青年組合員の情報交換と交流の場と位置づけ、各地協青年女性委員会の活動報告や計画を共有しました。また、「ワークルールを学ぼう」(模擬ワークルール検定)もあり有意義であった。

メーデー宣言 (案)

本日、私たちは90回目の記念すべきメーデー長岡地区大会を開催した。

メーデーは、1886年に米国の労働者が1日8時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源としている。日本では、1920年5月2日に第1回が開催された。その後、戦争などで禁止されたこともあったが、第二次世界大戦後、働く者の団結と連帯によって復活した。これまで、労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展などをめざし継続され、本日90回目のメーデーを迎える。改めてメーデーの原点や意義を認識し、すべての仲間が団結・連帯することの重要性を共有しよう。

東日本大震災から8年、熊本県を中心とする九州地震から3年、昨年各地で、地震や豪雨、台風などの大規模な災害が立て続けに発生した。依然として多くの人たちが不自由な生活を強いられている。一方、被災地では、支え合い、助け合うことで、前を向いて進もうとする姿がある。私たちは、引き続き災害を風化させることなく、防災・減災に取り組み、被災地の復興と地域の安全を守る運動を展開していく。

この4月から、改正労働基準法をはじめとする、働き方改革関連法が施行された。誰もが健やかに安心して働き続けられるよう、36協定の遵守など真に働く者のための働き方改革を確実に遂行していかなければならない。また、これまでの「底上げ・底支え」「格差是正」の流れを継続していこう。そして社会的セーフティネットを拡大・強化し、子ども・子育て、医療、介護などへの将来不安の払拭につなげよう。労働者福祉事業団体やNGO・NPOなどの諸団体と手を携え、「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざして取り組んでいこう。

世界の労働者の労働条件と生活水準の改善を目的に創設された国際労働機関(ILO)が本年100周年を迎えた。「労働は商品ではない」と1944年の総会で採択されたフィラデルフィア宣言は、完全雇用や社会福祉の向上など、第二次世界大戦後のILOの活動基本方針となったものである。新たな100年を契機とし、仕事の未来について世界的な規模での社会的対話の充実・促進をはかろう。また、世界の恒久平和に向けた運動の強化とともに、「SDGs(持続可能な開発目標)」の取り組みをすすめていこう。

世界では、貧困と格差が拡大し、民主主義を脅かす言動が頻発し、不安が高まっている。国内外の関係団体と連携し、すべての仲間、すべての人が平和・人権を守り、笑顔あふれる未来に向けて、全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

2019年4月27日  
第90回メーデー長岡地区大会

第90回メーデー開催にあたって  
～ “暮らしの底上げ” を実現しよう! ～

「格差をなくし、平和を守る! 笑顔あふれる未来をつくろう すべての仲間の連帯で!」のスローガンのもと、第90回メーデーに参加された皆さん、こんにちは。

1920年に日本で第1回メーデーが開催された後、2.26事件や戦争などで禁止に追い込まれましたが、働く者の団結によってメーデーは復活し、ナショナルセンター連合の結成30年の節目の年に、90回目のメーデーを迎えることができたことに意味深いものを感じます。

今年の新潟県統一テーマは「底上げ、底支え! 長時間労働の撲滅!!」です。4月から施行された働き方改革の確実な実行への対応も含め、「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現、長時間労働の是正およびいわゆる「同一労働同一賃金(職場における雇用形態間の不合理な処遇の格差の是正)」に関する取り組みを広げていかなければなりません。

日本の働く仲間の8割は、労働組合の傘に守られていません。弱者が切り捨てられ、結果、格差が拡大し、雇用・労働が、かつてないほど傷み、子育て、医療、介護など、不安は増大している今こそ、労働組合というセーフティネットを張り巡らせ、すべての働く人に“ディーセント・ワーク”(働きがいのある人間らしい仕事)を実現することです。主役はすべての働くもの一人ひとり。一人ひとりが声をあげることが底上げ、底支え、長時間労働の撲滅につながります。

東日本大震災から8年、熊本県を中心とする九州地震から3年、昨年は北海道、大阪、広島、岡山、愛媛において甚大な災害が発生しました。日本列島を襲う度重なる災害は、被災地の復興状況にも大きな影響を与えています。今なお多くの人たちが、不自由な生活を強いられている中、災害の経験から「人と人」とが支え合い、助け合う精神を学んだ私たちは、震災を絶対に風化させない、そして被災者に寄り添い、防災・減災の取り組みと合わせて被災地の「復興・再生」に向けて、支援を続けていくことが必要です。

今年メーデーは、県下21会場、1万3千人余の参加者を見込んでいます。メーデーに参加された皆さん! これ以上の「格差を許さない!」「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みを社会全体に波及させるとともに、安心と信頼の社会保障制度の確立をめざし、暮らしの底上げを実現しようではありませんか。

職場・地域から、すべての働く者と心ひとつに力を合わせ、すべての人が平和・人権を守り、笑顔あふれる未来をつくるため、行動を起こしていきましょう。

第90回メーデー万歳!

2019年4月27日  
第90回メーデー新潟県中央実行委員会  
実行委員長 牧野 茂夫

第11回 連合・ILEC 作品募集:大賞賞金 最高10万円

# 幸せまがし文化展

働く仲間とその家族の公募展



募集期間  
2019年 2月1日~5月31日

**応募資格・賞状**  
応募の場: 心算でも応募可  
[総賞・専賞]: 連合大賞・ILEC大賞:各1名 [賞状と賞金] 10万円  
ジュニア特別賞:各1名 [賞状と賞金] 3万円  
ジュニア特別賞:各1名 [賞状と賞金] 3万円  
その他各賞  
[専賞・川賞]: 連合大賞・ILEC大賞:各1名 [賞状と賞金] 5万円  
ジュニア特別賞:各1名 [賞状と賞金] 3万円  
ジュニア特別賞:各1名 [賞状と賞金] 3万円  
その他各賞

**審査員**  
総賞の選: 池田明子(作家) 藤田 誠(作家) 藤田 誠(作家) 藤田 誠(作家)  
専賞の選: 池田明子(作家) 藤田 誠(作家) 藤田 誠(作家) 藤田 誠(作家)  
ジュニア特別賞の選: 池田明子(作家) 藤田 誠(作家) 藤田 誠(作家) 藤田 誠(作家)  
川賞の選: 池田明子(作家) 藤田 誠(作家) 藤田 誠(作家) 藤田 誠(作家)

**発表**  
2019年7月1日【月】(公)社 教育文化協会ホームページ  
〒101-8501 東京都千代田区千代田1-1-1 101-8501  
TEL: 03-3281-1111 FAX: 03-3281-1422  
URL: http://www.ilec.or.jp/

第一回 2019年10月10日~11日 連合第16回定期大会期間  
10日 10:00~18:00 11日 10:00~12:00 新潟文化センター  
第二回 2019年10月下旬(予定)(2019年4月以降決定)  
NHKふれあいホールギャラリー

ILEC (社)教育文化協会 (社)教育文化協会  
〒101-8501 東京都千代田区千代田1-1-1 101-8501  
TEL: 03-3281-1111 FAX: 03-3281-1422  
URL: http://www.ilec.or.jp/

## メーデーの起源

メーデーは、1884年アメリカの職業別労働組合が「5月1日を期して8時間の労働時間・8時間の睡眠時間・8時間の自分の時間の要求を掲げて、ゼネストとデモンストレーションを行う」ことを決め、1886年にその決議を実施したことに始まります。そして1889年、第2インターの大会で、アメリカの労働者の、この闘いを記念して、5月1日を国際的な労働者の団結と闘いの決意を示す日と決め、翌1890年に第1回メーデーが開催されました。

日本におけるメーデーは、1920年(大正9年)5月2日、日曜日に第1回のメーデーが上野公園において、およそ1万人の労働者が結集して実施されました。その後、弾圧を受けながら16回開催されましたが、遂に1935年(昭和10年)をもって、当時の戦争政策遂行を図る権力の弾圧で中断しました。

しかし、戦後の1946年(昭和21年)に復活し、年を経るにしたがって盛大になり、現在、「働く者の祭典」として引き継がれ、今年2019年、第90回を迎えることになりました。

今日、働く者の環境は、産業・経済のグローバル化、少子高齢化・人口減社会到来という社会構造の変化の荒波に揉まれており、就業形態の違いや男女等による格差の是正、労働法制改悪動向をはじめとする雇用労働対策、長時間労働の是正とワーク・ライフ・バランスの実現、様々なストレス対策やハラメント対策、社会的弱者への対策強化、そして未だ道半ばの被災地域の復興・再生などと喫緊課題山積です。

本メーデーの県統一テーマは「底上げ・底支え! 長時間労働の撲滅!!」です。すべての働くものの連帯で、希望が持て、安心して働き・暮らせ、支え合える社会づくりをめざしています。

今や当たり前となっている、「8時間労働」を勝ち取るために立ち上がった、労働者の勇気に思いを馳せ、決意新たに第90回メーデーを迎えました。

そして、メーデーの起源を思い起こしました。